



株式会社ソーシャル・エイド・リサーチ

# 北からの飛進

写真・文／小山博孝



附田さんたちが働く会社が入居するビル  
株式会社ソーシャル・エイド・リサーチ  
〒060-0063 札幌市中央区南3条西10丁目 福山南三条ビル(4F)  
TEL 011-280-8750 FAX 011-280-8751  
URL <http://www.sar-jp.com>



附田裕幸さん。札幌市中央区のマンションで、派遣ヘルパーさんに手伝ってもらいながら一人で生活している。昨冬から始めたチェアスキー。今冬は本格的に挑戦するという



出勤してまず朝礼。近藤社長からさまざまな指示を受けて仕事が始まる



会社の先輩、高田理仁さんの車に同乗して通勤する

北海道岩見沢市にある社会福祉法人クビド・フェアで指導員として活躍していた近藤道夫さん。近藤さんは、施設の中で始めたコンピュータ同好会を、自らマルチメディア開発室長となって事業に育て上げた。そして独立して、障害者と共に働く会社、株式会社ソーシヤル・エイド・リサーチを設立した。

同社の主な仕事は、デジタルコンテンツ制作、システム開発、デバイス設計、福祉ライアンスなど。社員は一名（うち障害者一名）。岩見沢、札幌に事業所がある。

ここで働く附田裕幸さん（二二歳）と佐々木皇太郎さん（二二歳）は、ともに車いすでの生活だ。

附田さんは、襟裳岬近くの町で生まれ育った。幼いころから車いすでの生活だったが、中学校まで地元の普通校で過ごし、高校は親もとから離れた岩見沢高等養護学校へ進んだ。このころからコンピュータに興味を持ち、本格的に学び始めた。卒業後、北海道障害者職業能力開発校（プリントメディア科）で一年間勉強した。実習で近藤さんの会社を訪れたことをきっかけに入社、一年半になる。附田さんの主な仕事は、プログラマーとして地理情報システム等を担当している。





近藤道夫社長（49歳）。平成13年1月、株式会社ソーシャル・エイド・リサーチを創立。隣接してNPO法人障がい者就労支援の会を設立し、小規模事業所「あかりの家」の施設長も務めるなど忙しい毎日を過ごす



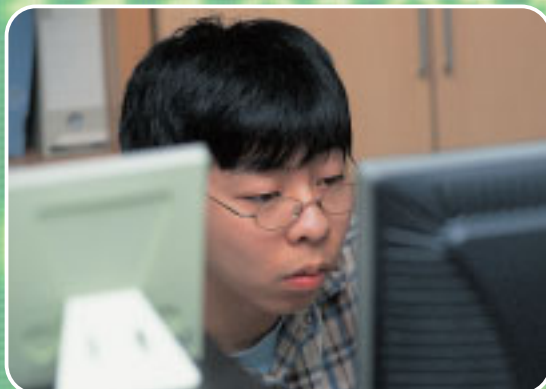
システム開発事業部の会議



先輩の榎本勝美さん（写真中）、高田理仁さんたちの技術や取り組み方をより多く学んで、「ないものを、一から立ち上げられるようになりたい」という附田さん



キーボードから離れ、隣接する小規模事業所「あかりの家」のメンバーとくつろぐ



ここでの仕事には機密情報がいっぱい的重要なものばかり。慎重に仕事を進める附田さん

附田さんや佐々木さんの仕事ぶりを見る近藤さんは、「マウスやキーボードが使えて、能力があれば問題ない。事業主はぜひ、おそれずに実習生等を受け入れて試してほしい。こうした交流が、会社を利を生み出します」と情熱的に話してくれた。

■本社  
〒068-0034 岩見沢市有明町南一―二九  
岩見沢市新産業支援センター（2F）  
TEL/FAX 011-261-3318 822



佐々木皇太郎さんは、附田さんと同じ高等養護学校の一年後輩。福祉アライアンス部門（申請、請求のコンサルタント）で活躍している



二人の母校である岩見沢高等養護学校を訪れ、後輩たちに経験談を話す佐々木さん（写真提供：北海道岩見沢高等養護学校）

